

AMDA 活動報告

イタリア中部地震被害 緊急支援活動を実施

イタリア中部（首都ローマから北西八十五キロ）で六日、マグニチュード六・三の地震が発生、甚大な被害が出たのを受け、特定非営利活動法人のAMDA（岡山市榎津、菅波茂理事長）が緊急支援活動を行った。

同法人によると、被害が最も大きかったアブルツツオ州ラクイラ県では、死者二百七十八人、二万八千人が家を失っ

ており、一万七千人が避難生活を送っているという（九日現在）。

また、現地では大きな余震が六日の地震以外にも、これまで少なくとも、七回観測されており、七日夜にもマグニチュード五・六の地震が発生した。

AMDA本部では、医療法人アスカ会所属で内科医の津まがりけんじ曲兼司医師、AMDA職員の谷口敬一郎調整員による緊急医療チームを派遣。

十一日には関西空港から香港を経て被災地入りし、現地のNGOなどから情報収集を行った上で、医療面におけるニーズを把握し支援に当たった。

津曲医師は十四日までの四日間滞在した後、十五日に帰国した。